平成 30 年度　事業報告書

平成 30 年 6 月 1 日から令和元年 5 月 31 日まで

特定非営利活動法人陸前高田まちづくり協働センター

1　事業の成果

当団体は、住民が信頼関係でつながり、楽しく生き生きと生活し、自己実現ができる陸前高田らしい地域づくりを進めるために支援し、岩手県における協働のまちづくりを推進し、市民主体の豊かな市民社会の創造に寄与することを団体の目的に置き、「陸前高田まちづくり協働センター」事業所の運営を軸に活動を実施した。地域運営母体の強化・再構築支援として実施して 4 年目となる高田地区市民会議では、パートナーである高田地区コミュニティ推進協議会が主催し、当団体は運営を補助する体制に変更して実施。組織体制が十分に整っていない状態での運営は課題も残ったが、昨年度までに比べて主体的な関わりは大きく向上し、運営主体となったことでノウハウ獲得への強い意欲も感じられた。担い手育成を目的に開催している講座では、自分の取り組んでいる地域活動に対する迷いや不安を取り除き、前向きに取り組む意欲を持つことができたという感想が参加者から寄せられるなど、地域をもっとよくしたいという想いを持つ市民に対して、その想いの実現を後押しすることができたと感じた。今後も市民が主体となった復興まちづくりの実現に向けて、地域に寄り添いながらこれらの活動を継続していきたい。

2　事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲
市民･行政･ＮＰＯ･企業等の協働推進、相談支援事業	・相談窓口対応 ・情報収集／発信 ・講座、研修会開催 ・貸し室支援	月～土 9：30 ～18：30	陸前高田市	4 人	地域団体 ＮＰＯ 市民個人
まちづくり支援事業	・話し合いの場づくり支援 ・陸前高田 NPO 協会事務局　等	随時	陸前高田市	2 人	地域団体 市民個人 市内外のＮＰＯ
公共団体及び各種団体の事業の協力、受託、支援、交流に関する事業	・つどいの丘商店街事務局業務補助 ・地域支え合い活動推進事業受託 ・まちなか交流広場交流施設管理業務 ・土地利活用等促進業務 ・被災者支援コーディネート事業調整員業務	月～土 9：00 ～18：00	陸前高田市	3 人	市民 地域団体 商店街事業者 ＮＰＯ　等

1.　市民・行政・ＮＰＯ・企業等の協働推進、相談支援事業

陸前高田まちづくり協働センター事業所に相談窓口を設置し、来所、電話、Eメール等で寄せられる相談に対応した。地域や市民活動団体からの講師派遣の依頼にも対応したほか、組織や団体のつなぎの支援も行った。また、ホームページやfacebookを通じて市民活動に役立つ情報の収集・発信にも努めた。活動場所のない団体に対する貸会議室の支援は平成 30 年 6 月 1 日から平成 31 年 4 月 31 日まで実施した。

なお、平成 30 年 7 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までは岩手県の「NPO等が行う復興支援事業費補助金（一般枠）」の採択を受けた「市民主体の復興まちづくりを促進するための中間支援拠点運営事業」の中で事業を実施した。

（1）復興支援、被災者支援等に取り組む団体・個人への相談支援

相談内容は事業運営に関するものや広報周知に関する依頼が最も多く、ついで団体情報や地域情報に関する情報照会が多かった。組織運営、登記にかかわる相談のほか、助成金の申請書作成へのアドバイス、情報の照会等の相談も寄せられた。また、災害公営住宅自治会を対象とした交流会へのファシリテーターの派遣、講師依頼、イベント実施の運営補助等の依頼にも対応した。

■　センター総利用者数（集計期間：平成 30 年 6 月 1 日～令和元年 5 月 31 日まで）

月	利用人数	利用区分			
		直接利用	間接利用	貸室利用	計
6 月	180 人	65 人	52 人	63 人	180 人
7 月	214 人	58 人	78 人	78 人	214 人
8 月	229 人	64 人	61 人	104 人	229 人
9 月	187 人	66 人	51 人	70 人	187 人
10 月	207 人	77 人	81 人	49 人	207 人
11 月	169 人	70 人	67 人	32 人	169 人
12 月	175 人	66 人	55 人	54 人	175 人
1 月	180 人	64 人	67 人	49 人	180 人
2 月	221 人	83 人	70 人	68 人	221 人
3 月	139 人	53 人	54 人	32 人	139 人
4 月	133 人	58 人	63 人	12 人	133 人
5 月	134 人	55 人	56 人	23 人	134 人
合計	2,168 人	779 人	755 人	634 人	2,168 人

■　相談対応の実績（集計期間：平成 30 年 6 月 1 日～令和元年 5 月 31 日まで）

※開設日数	241 日				
相談者利用形態	相談				合計
	設立	組織運営	事業運営	照会	
NPO	1 件	2 件	83 件	15 件	101 件
地域	0 件	0 件	1 件	1 件	2 件
個人	1 件	0 件	2 件	18 件	21 件
行政	0 件	0 件	33 件	10 件	43 件
企業	0 件	0 件	14 件	4 件	18 件
合計	2 件	2 件	133 件	48 件	185 件

■　会議室の貸出し支援

	地域団体			外部団体			地縁組織		
	件数	利用人数	時間(h)	件数	利用人数	時間(h)	件数	利用人数	時間(h)
H30.6 月	12	61	19.0	1	2	3.0	0	0	0
H30.7 月	16	78	30.0	0	0	0	0	0	0
H30.8 月	14	104	25.0	0	0	0	0	0	0
H30.9 月	11	58	18.0	1	10	2.0	1	2	1.0
H30.10 月	8	39	15.0	1	10	2.0	0	0	0
H30.11 月	8	32	24.0	0	0	0	0	0	0
H30.12 月	14	54	15.0	0	0	0	0	0	0
H30.1 月	9	40	24.0	1	9	3.0	0	0	0
H31.2 月	14	64	15.0	1	4	2.0	0	0	0
H31.3 月	7	32	37.0	0	0	0	0	0	0
H31.4 月	2	12	4.0	0	0	0	0	0	0
H31.5 月	5	23	9.0	0	0	0	0	0	0
合計	120	597	223.0	5	35	12	1	2	1.0
					総合計		126 件	634 名	236 時間

利用頻度は年々減少。利用者については、利用団体が特定されていた。市外と地縁についても利用する団体は固定しており、新規の利用申し込みはなかった。

事務所の移転にともない、H31 年 5 月で会議室の貸室業務を終了することとした。

（2）復興支援、被災者支援に取り組む団体等の情報発信

陸前高田まちづくり協働センターのホームページにて、団体の活動に役立つ助成金や研修等の情報を発信したほか、同センター内に情報コーナーを設置し、各団体の活動に関する情報を収集し、利用者の望むタイムリーな情報の提供に努めた。

■　情報発信の実績（集計期間：平成 30 年 6 月 1 日～令和元年 5 月 31 日まで）

➢　ホームページの更新

	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	合計
助成金	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	1	22
主催講座レポート	0	0	0	0	1	2	0	2	0	1	0	0	6
主催・共催情報	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	4
その他	5	9	3	3	3	4	3	0	2	4	1	2	39
合計	7	11	5	7	6	9	5	3	5	7	3	3	73

助成金情報については定期更新。センター主催の講座の他、他団体や地域のイベント情報を掲載。今年度は講座の活動報告も HP 内に掲載した。

➢　ブログ

	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	合計
助成金	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	1	24
主催講座レポート	0	0	0	0	1	2	2	1	0	1	0	0	7
主催・共催情報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	2	2	2	3	4	4	2	2	3	2	1	31

主に助成金情報を、月 2 回（1 日・15 日）定期掲載。レポートは、主催講座の開催状況に連動し、開催されていない月は掲載なし。

➢　ブログ（アクセス数）

	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	合計
訪問者数	76	25	65	44	78	74	31	43	73	76	78	47	710
ページビュー	152	78	123	124	151	187	110	89	271	274	282	173	2014

➢　フェイスブック

	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	合計
投稿	6	5	7	5	6	5	22	2	9	5	7	5	84
シェア	10	2	22	1	1	2	14	1	4	1	0	1	59

投稿は、助成金情報の更新や講座開催関係が主で、その他イベント情報や地域訪問先の様子などを投稿した。

（3）復興まちづくりの担い手育成とつながりづくり

■　まちづくりコーディネーター育成講座

前年度に引き続き、まちづくりコーディネーター育成講座と題し全 5 回の講座を開催。市民個人やすでに活動を開始している人を対象に、地域づくりのノウハウを提供した。前年度と内容を少し変更し、まちづくりの基礎、事業のつくり方、広報の考え方、事業の振り返りまでの手法を座学とワークを交えた内容で組み立てた。また、受講者向けのフォローアップとして、「まちあるきでもっとまちを知ろう！」を開催し、実際にまちあるきの手法を体験することでより深いノウハウを身に付ける場の提供を行った。全編を通して満足度も高かった。

➢ 実績

	日時	テーマ	参加人数
第 1 回	平成 30 年 10 月 11 日	まちづくりの基礎を知る	8 名
第 2 回	平成 30 年 10 月 25 日	事業・活動の種を見つける	6 名
第 3 回	平成 30 年 11 月 8 日	事業・活動をつくる	7 名
第 4 回	平成 30 年 11 月 22 日	事業の効果的な広報・PR を考える	8 名
第 5 回	平成 30 年 12 月 13 日	チームで事業を評価する	6 名
実践編	平成 31 年 3 月 2 日	まちあるきでもっとまちを知ろう！	2 名
			参加延数:　37 名

➢ 実施風景

【振り返り】

受講者は、13 名。内訳は、市民 7 名、団体所属 3 名、行政 3 名。そのうち、全ての回を受講したのは 2 名であった。日程が 3 ヶ月にわたるため、申込み時は全回参加希望の方もその後の都合が合わず、キャンセルをする方もいた。

講座全体の満足度は高く、第 5 回の「チームで事業を評価する」では、具体的な手法を体験したことで、受講者からの満足度は特に高かった。

今年度は参加費を一律 3000 円と設定していたが、集客が難しく、途中で各回の参加費を追加した。参加費については、次回以降は検討が必要。

今後の開催にあたり、地域の現状を改めて把握し、開催日程も含め、より地域のニーズにあった内容や構成などを工夫したい。

■ 「みんなの学校」企画

市民がまちづくりに参加する機会提供の一つとして、まちづくり・復興支援に取り組む NPO 等の活動に住民が触れ、活動を知り参加につなげるための企画として、「みんなの学校 in ほんまるキャンパス」を実施。この企画は、「市民がつくるみんなの学び舎」をコンセプトに、自分たちの暮らすまちを様々な視点で知り、学び、おなじ価値観を共有できる仲間との出会いを創出することで、一人一人のまちへの関心を高め、市民活動に参加するきっかけをつくることを目的に、講師は市民や NPO に務めてもらい、自分のまちへの自信、誇りを深め、また、自団体の活動を市民に知る機会としてもらい、その後の活動への参加につながる循環の仕組みを生み出す狙いをもって昨年度から開催し、今年度 2 回目の開催となった。

講師は昨年度と同様に市内 NPO 等から 5 団体を手上げで募り、交流施設ほんまるの家を会場に 2 日間開催。座学が中心だった昨年度と異なり、ハンドクリーム作りや料理教室など体験型の講座が多く、参加者から大変好評だった。実際に活動に触れたことで団体への関心も高まり、また地域の現状を再確認する機会にもなった。企画後には参加したことをきっかけに講師を務めた NPO の活動へ参加するようになったという報告を参加者から受けた。活動につながるケースはまだ少ないが、市民活動に参加するきっかけのひとつとして今後も継続していきたい。

みんなの学校 in ほんまるキャンパス

開催日時：平成 30 年 12 月 15 日（土）10:00～16:00
　　平成 30 年 12 月 16 日（日）10:00～15:30

会　場：陸前高田市まちなか広場交流施設ほんまるの家

講　師：NPO 法人まぁむたかた　和田文緒　氏・横田実恵子　氏
　　NPO 法人高田松原を守る会　鈴木善久　氏
　　一般社団法人マルゴト陸前高田　永田園佳　氏
　　NPO 法人りくカフェ　菅原由紀枝　氏
　　一般社団法人陸前高田被災地語り部くぎこ屋　釘子明　氏　…5 団体 6 名

参加人数：のべ 52 人

➢ 実施風景

(4)地域コミュニティの基盤強化

平成 26 年度から陸前高田市の高田地区モデル地区として、地域のコミュニティ推進を担う高田地区コミュニティ推進協議会をパートナーに、「高田地区市民会議」を運営して来たが、平成 30 年から協議会が市民会議を協議会の事業と位置づけ主催する事となったため、会議設計をはじめ当日資料作成のサポートを実施した。

高田地区は現在、既存の町内会と仮設の自治会から公営住宅又は、高台移転後の自治会形成を進める段階となっている。既存の町内会1つ見ても世帯数の変動や高齢化率など1つとして同じ状況のところはない。個々の課題を抱えながらも町内会を辛うじて継続している町内会が少なくない。また、仮設住宅に関しては、世帯数がどんどん減り空き部屋が増え自治会としての活動が既に出来ない、又は今後出来なくなることは明らか。新しく公営住宅の自治会も動き出している様に見えているが、実際は入居者の多くが高齢者という現状から次期役員候補が既にいないとの声も聞かれた。高台移転後の自治会の立上げは、建設時期の遅れから入居がどこまでも遅れ、件数もまばらな状況の中で自治会立上げに関わる住民は不安を抱えながらの新生活をスタートさせている。

また、高田地区でも高齢者が増え、隣近所での声がけや見守りの必要性を感じながらも、若い世代は自分のことや子育てに忙しい等の理由から町内会や自治会活動への関心の薄さから、担い手不足に頭を悩ませている現状に変わりはない。

以上の様な経緯から昨年に引続き「人が集まり交流する機会をつくる」ことの必要性に関して会議参加者の意見が合致。今年度も昨年度に引続き人が集まり交流する機会をつくるため企画開催を進めることとなった。

企画運営に関しては、運営側として関わる人達も 3 年目の方も多く関わり続けていることも有り、実行委員の立上げからはじめ当日の運営に至るまで参加者が中心に意見を出し合い前日の準備、当日を迎えることが出来た。

今回「カラオケまつり」には外国からの研修生も参加し、言葉の壁を超えて日本の歌を歌う姿や、出演者の要望で紙吹雪を用意するなど演出にも力がはいった。また「写真展」に関しては、昔懐かしい高田の風景の写真が集まり、高田小学校の昔の写真や、建替え前の公民館前での集合写真をみては、数十年前の写真を懐かしいと見ながら昔話に話が咲く様子が見られた。

事業の課題は、人が集まり交流する機会をつくり続けているが、新しい人のつながりが生まれにくくなっている事と、町内会、自治会が抱える課題解決に向けた議論をするところまで進めることが出来なかった。また、会議参加者の多くは役員の参加が多くなっている。「市民会議」に関する理解を深める事が今後必要と感じた。

■　企画実施の様子

■　平成 30 年度高田地区市民会議実施経過

回数	開催日	内容・目的	人数
第 1 回	平成 30 年 6 月 18 日	会議開催の目的確認と活動の方向性に関して	24 人
第 2 回	平成 30 年 11 月 12 日	今年度の活動について	13 人
第 3 回	平成 30 年 12 月 3 日	今年度の活動の具体(案)に付いて	5 人
第 4 回	平成 31 年 1 月 9 日	今年度の活動に関わる実行委員立上げと役割について	24 人
第 5 回	平成 31 年 2 月 4 日	「カラオケまつり」「写真展」準備と当日運営に関して	24 人
第 6 回	平成 31 年 2 月 19 日	「カラオケまつり」「写真展」最終確認	18 人
企画前日	平成 31 年 2 月 23 日	「カラオケまつり」前日準備	85 人
企画当日	平成 31 年 2 月 24 日	「カラオケまつり」当日「写真展」片付け	278 人
		参加人数計	471 人

(5)NPO 等のネットワーク事業

昨年度と同様に陸前高田 NPO 協会の事務局として市内 NPO 等のネットワークづくりに取り組んだほか、広域の中間支援連携として、近隣の沿岸被災地の中間支援同士の連携と情報交換を図りつつ、連携事業の実施等を行った。

■　陸前高田 NPO 協会事務局

陸前高田 NPO 協会は、復興のその先を見据えて地域社会の持続性を高めるため「陸前高田市のまちづくりのプレイヤー不足を解消するために、地域住民にまちづくりに参加する開かれた機会を提供することによって、当事者意識を持って行動できる人を増やす」ことを目的に昨年度設立。

事務局として総会の資料作成、毎月の幹事会の開催（11 回）、協会に対する問合せや情報照会、後援依頼の申し出等に対応した。

■　広域の中間支援連携

沿岸被災地の中間支援同士が情報共有を図った。情報共有会には釜石、大船渡の中間支援 NPO といわて連携復興センターが参加し、毎月 1 回（計 12 回）実施され、各地区の NPO の状況、事業についての情報共有などを行った。

2.　まちづくり支援事業

（1）講師・ファシリテーターの派遣

地域や NPO 等からの依頼を受けて講師やファシリテーターの派遣を自主事業として実施した。研修会への講師派遣、災害公営住宅自治会を対象とした交流会のグループファシリテーターの派遣依頼に対応した。昨年度に比べてファシリテーター派遣の依頼が減少したため、次年度は研修会の実施や講師、ファシリテーター派遣に対応していることの周知にも積極的に取り組んでいきたい。詳細は以下の通り。

№.	日時	内容
1	平成 30 年 8 月 23 日	マルゴト陸前高田からの依頼により、研修プログラムの中で活動を紹介
2	平成 30 年 10 月 31 日	おおふなと市民活動センターからの依頼により、学ぼう会へ講師派遣
3	平成 30 年 11 月 13 日	地域サポート会議の場において板書による会議内容の記録の補助
4	平成 30 年 12 月 11 日	地域サポート会議の場において板書による会議内容の記録の補助
5	平成 30 年 12 月 21 日	とうほくNPOフォーラム 2018in 気仙沼分科会Dコーディネーター
6	平成 31 年 2 月 11 日	岩手大学三陸復興創生推進機構コミュニティ班からの依頼による、大型災害公営住宅自治会交流会のグループファシリテーター派遣
7	平成 31 年 4 月 24 日	高田地区コミュニティ推進協議会からの依頼により、議会と語る会の運営補助として 2 名派遣
8	平成 31 年 5 月 21 日	いわて連携復興センターからの依頼により、第 4 回 災害時の連携を考える全国フォーラム分科会 14「災害復興において担い手はいかに生まれてきたか～東日本大震災の経験から～」に登壇

（2）中心市街地の活性化支援

平成 30 年 9 月 29 日、30 日に開催された中心市街地のまちびらきまつりにおいて、にぎわい創出のためのイベントの実施を補助した。イベントの実施に際しては陸前高田市の中心市街地活性化支援補助金を活用した。

（3）各種まちづくり関係の委員会への参加

陸前高田市等からの推薦依頼を受けて下記の委員会に委員を派遣した。

■　参加した委員会
陸前高田市総合計画審議会委員（生活支援コーディネーターとして）
陸前高田市景観審議会委員

3.　公共団体及び各種団体の事業の協力、受託、支援、交流に関する事業

（1）高田大隅つどいの丘商店街事務局業務補助

高田大隅つどいの丘商店街は、構成店舗、事務所の相互扶助の精神に基づき、地域住民のために必要な共同事業を行うとともに、各店舗・事務所の自主的な経済活動を推進し、経済的地位の向上を図る事を目的に開設。各店舗がそれぞれ事業・営業を実施。飲食店の他、商店、学習塾、NPO 法人事務所など計 12 事業者が店舗・事務所を構え、それぞれ顧客や取引先が訪問し、多様な人たちが集う場所となっていたが、平成 30 年 9 月末をもって商店街が解散したことを受けて本業務は終了した。

（2）地域支え合い活動推進事業

本事業は、地域における高齢者についての課題や解決策について、関係団体や住民が共に協議する場を設置し、地域に暮らす住民同士が互いにつながり、支え合う体制の構築による資源開発等を推進することを目的に実施するものであり、市民生部地域包括から委託を受け、平成 30 年 4 月 1 日から事業に着手している。事業期間は平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年月 31 日まで。なお、平成 31 年度事業としても引き続き受託しており、事業期間は平成 31 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日まで。

内容は当市のコミュニティ推進協議会設置地区を単位に、各地区で年間 6 回の協議の場を設定し、高齢者が生き生きと暮らせる地域を目指して、高齢者の社会参加の促進等について地域住民が話し合う場をつくることを主として、地域の中でのつながりづくり、資源発掘、サービス開発等を支援する事業として、各地区との協議の場づくりに向けた調整および実施と、サロン等を訪問しての現状把握に努めた。実施状況は下表の通り。

■　実施状況：平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日まで

地区名	実施状況							
下矢作	協議	5 回	事前協議・打合せ	12 回	訪問・ヒアリング	7 回	サロン活動サポート	0 回
矢作	協議	2 回	事前協議・打合せ	10 回	訪問・ヒアリング	7 回	サロン活動サポート	1 回
生出	協議	6 回	事前協議・打合せ	13 回	訪問・ヒアリング	0 回	サロン活動サポート	0 回
横田	協議	6 回	事前協議・打合せ	10 回	訪問・ヒアリング	4 回	サロン活動サポート	0 回
竹駒	協議	2 回	事前協議・打合せ	8 回	訪問・ヒアリング	11 回	サロン活動サポート	1 回
気仙	協議	0 回	事前協議・打合せ	2 回	訪問・ヒアリング	10 回	サロン活動サポート	0 回

長部	協議	3 回	事前協議・打合せ	8 回	訪問・ヒアリング	8 回	サロン活動サポート	0 回
高田	協議	6 回	事前協議・打合せ	15 回	訪問・ヒアリング	4 回	サロン活動サポート	0 回
米崎	協議	0 回	事前協議・打合せ	14 回	訪問・ヒアリング	5 回	サロン活動サポート	0 回
小友	協議	3 回	事前協議・打合せ	16 回	訪問・ヒアリング	14 回	サロン活動サポート	0 回
広田	協議	8 回	事前協議・打合せ	9 回	訪問・ヒアリング	0 回	サロン活動サポート	0 回

■　実施状況：平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 5 月 31 日まで

地区名	実施状況							
下矢作	協議	1 回	事前協議・打合せ	2 回	訪問・ヒアリング	0 回	サロン活動サポート	0 回
矢作	協議	0 回	事前協議・打合せ	1 回	訪問・ヒアリング	2 回	サロン活動サポート	3 回
生出	協議	1 回	事前協議・打合せ	1 回	訪問・ヒアリング	0 回	サロン活動サポート	0 回
横田	協議	0 回	事前協議・打合せ	3 回	訪問・ヒアリング	0 回	サロン活動サポート	0 回
竹駒	協議	0 回	事前協議・打合せ	3 回	訪問・ヒアリング	0 回	サロン活動サポート	0 回
気仙	協議	0 回	事前協議・打合せ	1 回	訪問・ヒアリング	0 回	サロン活動サポート	0 回
長部	協議	1 回	事前協議・打合せ	1 回	訪問・ヒアリング	0 回	サロン活動サポート	0 回
高田	協議	0 回	事前協議・打合せ	3 回	訪問・ヒアリング	0 回	サロン活動サポート	0 回
米崎	協議	1 回	事前協議・打合せ	3 回	訪問・ヒアリング	0 回	サロン活動サポート	0 回
小友	協議	0 回	事前協議・打合せ	2 回	訪問・ヒアリング	0 回	サロン活動サポート	0 回
広田	協議	1 回	事前協議・打合せ	4 回	訪問・ヒアリング	2 回	サロン活動サポート	0 回

（3）まちなか交流広場交流施設管理業務委託

新市街地に設置されたまちなか広場交流施設通称ほんまるの家の施設利用対応、利用相談、および施設の利用促進につながる企画立案と運営を、陸前高田市および陸前高田商工会と情報共有、協議を行いながら実施した。事業期間は平成 30 年 4 月 1 日～令和元年 5 月 31 日まで。

（4）土地利活用等促進業務委託

陸前高田市が委嘱する復興支援員を活用し、土地等に関する情報収集や調査、PR 活動、土地利活用を推進する組織体制の整備に関する検討を行うことにより、にぎわいと魅力ある市街地形成とコミュニティの再生に寄与することを目的に実施する事業で、平成 30 年 4 月 1 日から業務委託開始。復興支援員 1 名で対応した。事業期間は平成 30 年 4 月 1 日～令和元年 3 月 31 日まで。

なお、平成 31 年 4 月 1 日からは平成 31 年度（令和元年度）の事業として業務委託を受け事業を実施している。平成 31 年度事業の事業期間は平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 6 月 30 日まで。

（5）復興庁被災者支援コーディネート事業調整員業務

本事業は、地域課題の解決に向けて、支援者の抱える課題に対してマッチング等の支援を行い、支援者の課題を解決することで地域課題の解決を推進することと、地域内の自治体・支援団体等の自立的な連携体制の構築を後押しすることを目的にいわて連携復興センターと連携して実施した。平成 30 年度の事業期間は平成 30 年 5 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日まで。なお、平成 31 年度も同様の業務を受託し、平成 31 年 4 月 1 日から実施している。平成 31 年度の事業期間は平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで。